

統廃合により4校が一つとなった学校（肱川小学校）



また、地域においては、学校の教育活動に合わせて行事を行っていた地域も多いため、活動の維持運営に苦慮されている地区もあります。

これまで、地域の皆様の御理解と御同意により、子供たちの教育環境の改善が図られましたことに深く感謝申し上げます。今後も、子供たちが大人数の中で切磋琢磨し、郷土を愛し豊かな心で生き抜く力を育む教育を推進するとともに、さらなる教育環境の整備を進めたいと考えています。

国体開催を契機とした観光振興策

問 国体開催を機に当市への誘客や知名度向上を図るためどのような施策を展開する計画か。

答 さまざまな機会を捉えて大洲市のよさをアピールし観光振興につなげていくことは大切であると考えています。このことから、瀬戸内しまのわ、JR四国観光列車の運行、えひめ国体など、それぞれの事業内容にあわせて宣伝活動を行い、多くの観光客の皆様を集客につなげるよう努めていきたいと考えています。

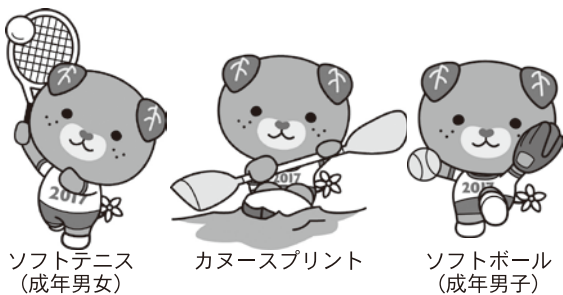
国体の開催においては、本市の開催種目の一つであるカヌーをPRできるチャンスであると考えており、カヌーの観光事業化に向けて、6月から9月までの間、毎週末と祝日にカヌー体験事業を実施するように計画しています。

また、国体の開催に向けて市を挙げて取り組む必要があることから、昨年12月に準備委員会を設立し、今年1月には常任委員会を開催し専門委員会を設置したところです。

今後は、大きな観光事業

やイベントなどを捉えて大洲市のPRを積極的に行うとともに、訪れていたいただいた観光客の皆様にもまた来たいと言ってもらえる体制を官民一体となつて構築することが肝要であると考えています。

このため、国体の開催年となる2017年までには、案内ガイド団体との連携を図りながら新たな人材の養成、確保ができるような仕組みについても検討を行い、団体種目の参加者や関係者、応援などで訪れていただく多くの皆様を受け入れたいと考えています。



ソフトテニス (成年男女)

カヌースプリント

ソフトボール (成年男子)

愛顔つなぐえひめ国体マスコット みきちゃん
※大洲市で開催予定の競技です。

委員会審査

3月定例会で常任委員会に付託された議案等について審査を行いました。

総務企画委員会

委員長 大野立志

◆地域公共交通対策について

問 今回の計画の見直しについて

答 今回の肱川及び河辺地域においてはの見直しは、大洲中心部までの唯一の交通手段である民間路線バス及び市の有償バスの利用者が減少したことにより、小学校統廃合に伴い新たに運行されるスクールバスの空き時間を活用した実証運行を行い、利便性を向上させ、利用しやすい運行をめざした見直しを行う計画です。

問 今後の公共交通の見直しについて

答 周辺部から中心部への民間バス路線を維持しながら、各地域内ではスクールバスの有効活用を図っていくことを基本に考えています。そのために今回、肱川及び河辺地域において1年間の実証運行を行い、

その状況や結果を基に他の地域でも、利便性の向上に向けた見直しを検討していく考えです。

◆合併10周年記念事業について

問 事業の概要について

答 平成27年1月11日の合併記念式典、同日から12月31日までの間に実施する記念イベント、そして合併以降、厳しい財政状況から先送りせざるを得なかった公共施設の2カ年度にわたる維持修繕事業、この3つを大きな柱として計画しています。既存のイベントの拡充や公募による新規イベントの実施など、全市的な取り組みを検討しています。

また、坂本龍馬脱藩の道ウォーク&バイク、市のシンボルマークや市民の歌の制作など、今後、記念事業実行委員会と協議を重ね、実施に向けて検討していきます。